

質の高い医療の両立へ貢献する
バリューの高い医療技術で、健全な医療財政と



受療者

適切な情報に基づく、受療者による最適な医療技術の選択を保証する環境の整備

1

受療者に選択肢が提示される環境整備

質の高い医療技術の選択肢が、受療者に適切に提示される環境の整備



医療機関

最適な医療技術の選択につながるデータの可視化と評価の制度の確立

2

VBHCの基盤としてのデータベースの整備

バリューベースヘルスケアの基盤として、DPC データベース、レジストリ情報を活用したデータベース整備の推進と活用



3

アウトカム評価の導入

適切なリスク調整を前提としたアウトカム評価の導入



4

多様なエビデンスの柔軟な活用

医療機器・体外診断薬の特性を考慮した、多様なエビデンスを適切、かつ、柔軟に活用した評価の基準作り



5

技術評価の枠組み見直し

医療機器等の技術進歩や技術の使われ方の実態を反映した評価を行うために、メーカーの知見を活用する枠組みの検討



個別技術

医療技術の価値・効率性を適切に評価する仕組みやルール的发展・整理